

ART NEWS TOKYO

アート・ニュース・トーキョー

2011
1-3

東京 + アート + カルチャー

東京都庭園美術館

東京都江戸東京博物館

江戸東京たてもの園

東京都写真美術館

東京都現代美術館

東京都美術館

東京文化会館

東京芸術劇場

トーキョーワンダーサイト



ART NEWS TOKYO

INTERVIEW

栗山千明 / トーキョーワンダーサイト

ミュージアム&シアター最新情報
2011年1-3月スケジュール



東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

アート・ニュース・トーキョー 2011 1-3

イマジネーションを刺激する 国際的なアートとの対話

新しい芸術文化を発信するトーキョーワンダーサイト(TWS)。
ふらりとTWS渋谷を訪れた、栗山千明さんが感じた事とは？

渋谷の真ん中の異空間で
静かに作品と向き合う



アートに興味を持つようになったのは、母の影響が大きいですね。私の母は趣味で絵を描いて、よく一緒に展覧会を觀に行ったりもしていたので、自然とおもしろさを見出すようになったんだと思います。一番最近の母とのデートでも、ふたりで『レンピッカ展』に行きました。お仕事をヨーロッパに行くときには、美術館や教会、歴史的な建物などを廻るのも楽しみのひとつです。アートだけでなく、教会のステンドグラスや古い建物のレリーフなどもそうですが、寄ったり、引いたりしてみながら、その作品がたたく空間全体を感じたい。そうすることによって作品の表情や色、輝きの変化を楽しめるのも、生でしか味わえない鑑賞の醍醐味なんじゃないかなと思います。

トーキョーワンダーサイト渋谷へは、以前に蜷川実花さんの展覧会を觀に来たことがあるのですが、改めて来てみて、落ちついた雰囲気できちんと作品と向き合うことができるステキな空間だなと思いました。無駄なものがなく、スッと作品に目がいくよう展示が工夫されていますよね。今日觀

たのは、韓国、レバノン、タイの女性アーティストが、自国の歴史や社会的問題をモチーフにした作品です。なかなか觀る機会の少ない国々のアーティストの独特な感性や表現方法を知ることができて、すごく興味深かったですね。正直言って、私には外国の歴史や社会情勢はよくわからないし、普通に教えてもらってもピンと来なかったりするんですけど(笑)、こうして作品の題材として向き合うと興味がわくし、もっと知りたいって思う。渋谷という街の真ん中に、こういう作品に気軽に触れられる場所があるのは、すごくうれしいことです。

私はアニメやマンガも大好きなのですが、アートも、そしてアニメやマンガでも、あまりに単純明快なものより、觀る人の解釈に委ねられているような作品に惹かれます。作家がどんな意図で、何を言いたくてこの作品を作ったのか、自分なりに想像し、答えを見つけていくのがすごく楽しい。それが、女優というお仕事をやる中で役のイメージを膨らませ、表現していくことに生かされていたりするのかもしれない。



PROFILE

くりやまちはき 1984年生まれ。モデル活動などを経て、'99年、映画『死国』で女優デビュー。'03年にはクエンティン・タランティノー監督作『キル・ビル Vol.1』でハリウッド・デビューを果たし、以降数多くの映画やドラマに出演。'10年2月には歌手としても活動をスタート。1月26日(水)に浅井健一プロデュースのニューシングル『コールドフィンガーガール』をリリースするなど、活躍の場を広げている。

トーキョーワンダーサイト渋谷

東京から新しい芸術文化を創造・発信するトーキョーワンダーサイトの2館目の施設として'05年に開館。海外のオルタナティブ・スペースや芸術文化機関との連携プロジェクトや、国際的に活躍する海外のアーティスト及び日本の若手アーティストの紹介、TWS青山や海外のレジデンスに滞在したクリエイターの成果発表展覧会などを行っている。併設のアートカフェkurageは、空間デザインをクリエイター集団grafが担当。スタイリッシュな店内でゆっくりと食事やお茶を楽しむことができる。

※写真は、『アートの課題：一サイレント・ボイスー』(2010年12月12日終了)の展示風景です。



MERI NIKULA「I Eye I/ai ai 愛愛愛」(2009年度奨励賞)

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL -SOUND, ART & PERFORMANCE- Part2

TWS渋谷:2月17日(木)ー2月27日(日)

TWS青山:2月13日(日)ー2月20日(日)

ジャンルを超えて、国内外からさまざまな表現者が集うサウンド・パフォーマンスの祭典。ドイツの室内アンサンブルの最高峰、アンサンブル・モデルンのメンバーほか特別ゲストを迎え、若手音楽家たちと協働制作を行うほか、TWS青山のレジデンスに滞在するアーティストたちが成果発表を行います。さらにTWS渋谷では、今年度の公募から選ばれた13企画が一堂に会し、連日ユニークなステージを繰り広げます。これまで誰も体験したことのないような、驚きに満ちた表現の世界をお楽しみください。

会場:トーキョーワンダーサイト渋谷、トーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンス、東京ウィメンズプラザ

入場料:公演により異なる(詳細はホームページをご参照ください)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



Duo X「都会の無風帯」(2009年度奨励賞)



神崎えり「シネ・コンサート"ロイドの人気者"」(2009年度奨励賞)

Emerging Artist Support Program 2010 第5回展覧会企画公募

2月26日(土)ー3月27日(日)

展覧会の企画者(キュレーター)を志し活動している若手実力者への支援・育成を目的とした展覧会企画そのものを公募するプログラム。5回目となる今回は、将来キュレーターをめざし活動する方、またはセルフプロデュースによる企画を考えているアーティストなどからの新しい発想とエネルギーに満ちた44企画の応募から3企画が選出されました。

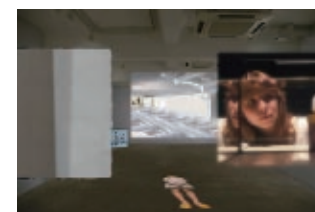
入選者:佐々木友輔「floating view "郊外"からうまれるアート」、クラウド・ラルヒャー「ELASTIC VIDEO curated by PLINQUE」、松井えり菜・村上華子「Girlfriends forever!」

会場:トーキョーワンダーサイト本郷 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) 入場料:無料

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



松井えり菜「座敷わらし〜フランス大使館風ドモダケ添え〜」
©Erina Matsui Courtesy of YAMAMOTO GENDAI



クラウド・ラルヒャー
「Elastic Video-展覧会スケッチ」モニター・ジュ、2010



Juan López Díez
《Today I aspire to nothing》
Joan Miró Foundation Barcelona-
Spain 2009

ココが見どころ!

様々な創造的分野で活躍する世界中のクリエイターが滞在し、刺激を受けながら創作活動を行っているトーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンス。その制作の現場を一般公開する「OPEN STUDIO」を1月29日(土)、3月12日(土)に開催。各分野のスペシャリストによるゲストトークなども実施しますので、この機会をお見逃しなく! 参加費:無料 ※詳細はホームページをご覧ください。(http://www.tokyo-ws.org)

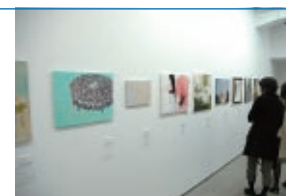
おすすめスポット

「ワンダーシード2011」

「BUY=SUPPORT」をコンセプトに若手アーティストの美術作品と、多くの美術愛好家が出会う場として始まった「ワンダーシード」。今年も公募で選ばれた若手アーティストの作品をTWS渋谷で展示し、販売します。お気に入りの作品を見つけに、ぜひご来館ください!

開催日:2011年3月5日(土)ー3月21日(月)

会場:トーキョーワンダーサイト渋谷





TOKYO METROPOLITAN
TEIEN ART MUSEUM



ブルーノ・モングッツィ《「結婚」オスカー・シュレンマー、イゴール・ストラヴィンスキー》1988
©Bruno Monguzzi

20世紀のポスター[タイポグラフィ]

デザインのちから・文字のちから

1月29日(土)ー3月27日(日)

文字が織り成す刺激的なデザイン
タイポグラフィの魅力に迫る

科学技術の発展により、大量生産・大量消費の時代へと突入した20世紀。映画の告知や商品の宣伝、社会へのメッセージ発信など、多様な目的に応じて大量のポスターが印刷されました。ポスターは、20世紀初頭に台頭したキュビズムや構成主義など、さまざまな芸術潮流を背景に新たな視覚世界を切り開いてきましたが、その視覚表現において重要な役割を担ったのが、タイポグラフィ、すなわち画面上の文字の配置や活字の書体デザインです。本展では、ポスターデザインにおけるタイポグラフィに焦点を当て、竹尾ポスターコレクションの中から、タイポグラフィと関わりの深い作品約110点を公開します。ロシアの前衛芸術家で構成的なデザインをヨーロッパに広めたエル・リシツキー、文字の美しさを追求したマックス・ビルら、20世紀を代表するデザイナーによる作品は、文字とデザインの魅力や面白さを伝えてくれることでしょう。

入場料	一般1,000(800)円、学生800(640)円、小中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は65歳以上の方は無料。
会場	東京都庭園美術館
休館	第2・第4水曜日
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社
後援	東京都
協賛	戸田建設株式会社、東京ガス株式会社
企画協力	多摩美術大学
特別協力	株式会社 竹尾



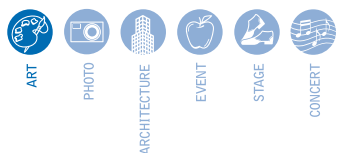
フェルディナンド・ホドラー
《オーストリア造形芸術家協会第19回分離派展、機関誌「ヴェール・ザクルム(聖なる春)」》1904



アラン・フレッチャー《ART、「すべての芸術作品は時代の子供である-ヴァンリー-カンディンスキー」》
1983 ©Alan Fletcher



亀倉雄策《ニコンSP》1957(1990年再製作版)
財団法人 DNP文化振興財団蔵
©Yusaku Kamekura



ココが見どころ!

日常生活で何気なく目にするポスターですが、内容を正確に伝えながら人々の印象に残るものを作るのは難しいもの。タイポグラフィに注目した本展では、「文字のちから」を駆使した、古今東西のデザイナーによる「デザインのちから」をお楽しみいただけます。ぜひご覧ください。

東京都庭園美術館 学芸員 浜崎加織

おすすめスポット

アール・デコ様式の通気口

アール・デコ様式を取り入れた内装で知られる当館ですが、ドアノブ、ラジエーターカバー、階段など細部にも細かな装飾が施されています。例えば各部屋に設置された通気口も部屋や場所によって少しずつ異なるデザインが施されています。当館にお越しの際は、ぜひ室内をぐるりと見回してみてください。きっと新たな発見があるはずです。

殿下居間通気口





《徳川秀忠室[浅井氏]画像(伝)》1913(大正2) 東京大学史料編纂所蔵
※原本は《崇源院(江)像》(京都・養源院蔵)
展示期間1月2日～1月15日

NHK 大河ドラマ特別展 「江～姫たちの戦国～」

1月2日(日)～2月20日(日)

激動の戦国日本を駆け抜けた
女性たちの生き様を追う

戦国大名浅井長政の末娘・江(ごう)の波乱に満ちた生涯を描く、NHK大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』。本展では、ドラマの放映と連動し、江をはじめ、江のふたりの姉である淀と初、そして彼女たち姉妹を取り巻く織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などの戦国武将の遺品などを公開します。激動の時代、三姉妹は運命に翻弄されながらも、使命を全うするかにその生涯を駆け抜けました。女たちのはななくも遅しい生き様を体感できる内容です。

入場料: 一般1,300円(1,040)円、学生1,040円(830)円、高校生と65歳以上650円(520)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。**会場:** 東京都江戸東京博物館 1階展示室 **休館:** 月曜日(ただし1月3日、10日、17日は開館) **主催:** 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション



《賤ヶ岳合戦図屏風(右隻)》江戸時代中期馬の博物館蔵



《めのう観音》江戸時代前期 東京・長善寺(笹寺)蔵

企画展 「140年前の江戸城を撮った男 横山松三郎」

1月18日(火)～3月6日(日)

今から140年前の江戸城を写した写真。撮影したのは、幕末から明治期にかけて活躍した写真師、横山松三郎です。当時渡来したばかりの写真術を苦勞の末に習得した彼は、歴史に残る貴重な写真を数多く撮影しました。本展では彼の残した写真や資料を通して、知られざる活動の全貌を展観します。

入場料: 一般600円(480)円、学生480円(380)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上300円(240)円。中学生(都内)・小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。**会場:** 東京都江戸東京博物館 常設展示室5階 第2企画展示室 **休館:** 月曜日 **主催:** 東京都、東京都江戸東京博物館



横山松三郎《セルフポートレート》明治初期 個人蔵



ココが見どころ!

横山松三郎が撮影した《旧江戸城ガラス原板》(1871/明治4年)、《壬申検査関係ステレオ写真ガラス原板》(1872/明治5年)は国指定重要文化財(歴史資料)となっており、当館では初公開となります。企画展「140年前の江戸城を撮った男 横山松三郎」で展示しますので、是非ご覧ください。

東京都江戸東京博物館 学芸員 岡塚章子

おすすめスポット

江戸東京ひろばの水辺

当館の外観は、高倉を模したユニークなデザインですが、四本柱を受ける床部分(3階)は総面積18,800㎡の広大なテラス、「江戸東京ひろば」です。団体の集合場所や休憩所、季節ごとのイベントなどに活用されています。写真は国技館寄りにある水辺のタイル。階段をてっぺんまでのぼると、かわいいお魚が出現します!「江戸東京ひろば」もずっと奥まで見渡せますよ。





武蔵御嶽神社幣殿・拝殿



高尾山薬王院飯縄権現堂



《赤糸威鎧・複製》 原資料は武蔵御嶽神社蔵

むさしみたけ たかおさんやくおういん 武蔵御嶽神社と高尾山薬王院

1月15日(土)ー4月10日(日)

都民に親しまれているふたつの山の歴史と
知られざる魅力に出会う

東京近郊にありながら、豊かな自然の残る行楽地として、都民から親しまれている御岳山と高尾山。ともに関東山地の東縁に位置する山で、山岳信仰の場としての長い歴史をもっています。御岳山の山上に鎮座する武蔵御嶽神社は、736(天平8)年、東国鎮護のために行基が蔵王権現を安置したのにはじまると伝わります。一方、高尾山薬王院有喜寺は、744(天平16)年に行基が聖武天皇の勅命を受けて開山したことに始まると伝わります。いずれも修験の霊場として発展してきました。その後、時の権力者の庇護を受け、地域や江戸の人々からも篤い信仰を集め、繁栄しました。

本展では、高尾山薬王院、武蔵御嶽神社の神主家や御師家に伝わる古文書類から明らかにされつつある史実をふまえ、歴史をふりかえるとともに、江戸や多摩の人びととの関わりなどを紹介し、御岳山と高尾山の知られざる魅力に迫ります。

- 入 場 料** 一般400(320)円、学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200円(160)円。中学生(都内)・小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は65歳以上の方は無料。
- 会 場** 江戸東京たてもの園 展示室
- 休 園** 月曜日(祝日の場合は翌日)。ただし3月22日(火)、28日(月)、4月4日(月)は開園
- 主 催** 東京都 江戸東京たてもの園



《高尾山開帳川柳奉額図》 江戸東京博物館蔵



《武蔵御嶽神社大口真神護符》



《京王電車沿線案内》 江戸東京博物館蔵



ココが見どころ!

遠足やハイキングでお馴染みの御岳山と高尾山。行楽地として賑わう以前、信仰の山として長い歴史を積み重ねてきました。信仰の山から行楽地へと移り変わっていく歴史、江戸や多摩地域の人びととの関わりなど、御岳山と高尾山について、理解を深めていただける展覧会です。

江戸東京たてもの園 学芸員 米崎清実

おすすめスポット

復元工事現場

2011年秋にオープン予定の新規収蔵建造物の復元工事が順調に進んでいます。幕末から明治初期に建てられた「万徳旅館」は子宝湯の前に、1928(昭和3)年に建てられた「大和屋本店(乾物屋)」は川野商店と植村邸の間に復元されます。工事現場はクリアフェンスになっているので、刻一刻と立ち上がっていく様子が御覧いただけます。ホームページ(<http://www.tatemono.jp>)の「復元建造物 ただいま建築中」でも見るができます。





水越香重子《Goethe-Haus》2011
Courtesy of the artist

第3回恵比寿映像祭 デイドリーム ビリーバー!! —映像の力

2月18日(金)ー2月27日(日)

映像が見せてくれる豊かさと
奥行きを提示するフェスティバル

恵比寿映像祭は、映像表現の芸術性について多角的な視点で捉え直す、映像の国際フェスティバルです。3回目を迎える今回は、映像を「人が目覚めたままだる夢＝白昼夢(デイドリーム)」と考え、「デイドリームビリーバー!!」をテーマに展示やイベントを展開します。また、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場にて、最新のインスタレーションプロジェクトも登場。映像やメディアの発展を体感できる、貴重な機会をお楽しみください。

入場料: 無料(ただし定員制の上映プログラム、イベント等は有料) **会場:** 東京都写真美術館 全フロア、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場 他 **主催:** 東京都、東京都写真美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社 **共催:** 恵比寿ガーデンプレイス株式会社 **後援:** 株式会社J-WAVE **支援:** 平成22年度文化庁メディア芸術人材育成支援事業 **協賛:** 東京都写真美術館支援会員 **協力:** NECディスプレイソリューションズ株式会社、株式会社エディスグローヴ、びあ株式会社、エキサイトイズム、株式会社北山創造研究所、株式会社トリプルセブン・インタラクティブ、株式会社ロボット *当事業は東京文化発信プロジェクト事業です。

映像をめぐる冒険vol.3 3Dヴィジョンズ —新たな表現を求めて

2010年12月21日(火)ー2月13日(日)

平面のものが飛び出すように見える不思議、3D映画にも用いられている視覚原理「立体視」をとりあげます。19世紀半ばから近代の原始的な立体写真や立体視装置、立体視を利用した現代の作品など収蔵品を中心に展示。歴史を紐解きながら、表現手法としての「立体視」を多角的に検証します。

入場料: 一般 500(400)円、学生 400(320)円、中高生・65歳以上 250(200)円。()は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:** 東京都写真美術館 地下1階展示室 **休館:** 月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:** 東京都、東京都写真美術館、産経新聞社 **支援:** 文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 **助成:** 公益財団法人野村財団 **協力:** NECディスプレイソリューションズ株式会社 **協賛:** 凸版印刷株式会社 **後援:** サンケイスポーツ、タ刊フジ、フジサンケイビジネスアイ、iza!、SANKEI EXPRESS



ツァオ・ウェイ《RMB シティオペラ》2010
Courtesy of Artist and Vitamin Creative Space



ジェームズ・ベニング《ルール》2009
©James Benning
Courtesy schaf oder scharf film



五島一浩《STEREO SHADOW》2008



ココが見どころ!

映像は、妄想にカタチをあたえ、現実を思わぬ形で照らし出すもの。今年「デイドリーム(白昼夢)」をキーワードに、恵比寿に各国から新旧選りすぐりの作品が集まります。展示、上映、ライブなどさまざまなチャンネルで、映像との新しい出会いをご期待ください。

東京都写真美術館 学芸員 岡村恵子

おすすめスポット

2階ラウンジ

2階エントランスロビーには、鑑賞中の休憩や待ち合わせなどに利用できる、開放感ある吹き抜けのラウンジがあります。恵比寿映像祭の期間中は「YEBIZOラウンジ」と題し、国内外のアーティスト、キュレーター、研究者を招いたアーティスト・トークやレクチャーなどイベントも行われます。多彩なゲストと交流してみませんか。





田窪恭治《神椿》(金刀比羅宮新茶所壁画)2006
有田焼陶板 Photo:河村圭一(参考図版)

田窪恭治展

2月26日(土)ー5月8日(日)

廃墟に命を吹き込む美術家
田窪恭治の軌跡を振り返る

田窪恭治は、既存の景観や文化を活かしながら、創造活動を展開してきた美術家です。今から20年以上前、フランスの農村で廃寺となっていた礼拝堂を「林檎の礼拝堂」として修復再生しますが、このプロジェクトは、芸術の新しいあり方を示すものとして注目を集めました。本展では、美術家として出発した70年代の作品から、現在取り組んでいる「琴平山再生プロジェクト」までの多面的な展開を、この2つの再生プロジェクトを中心にたどります。

入場料：一般1,200(960)円、学生・65歳以上900(720)円、中高生600(480)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は65歳以上の方は無料。会場：東京都現代美術館 企画展示室 1階・地下2階 休館：月曜日(祝日の場合は翌日) 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



田窪恭治《サン・ヴィゴール・ド・ミュール礼拝堂
(林檎の礼拝堂)のための内部壁面イメージ》1996
Photo:斎藤藤三(参考図版)

MOT アニュアル 2011

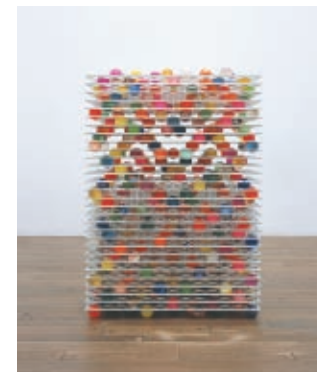
Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方

2月26日(土)ー5月8日(日)

同時代の若手作家をグループ展形式で紹介する「MOTアニュアル」。11回目を迎える今回は、「近くにある彼方」をテーマに、独自の術を通して足許に広がる世界の深さをさぐるような作家たちの試行を紹介します。「作ること」や「見ること」そして「聞くこと」—それらの在り処を一緒にさがしてみませんか?

出品作家 | 池内晶子、椛田ちひろ、木藤純子、関根直子、冨井大裕、八木良太

入場料：一般1,000(800)円、学生・65歳以上800(640)円、中高生500(400)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は65歳以上の方は無料。会場：東京都現代美術館 企画展示室3階・2階 休館：月曜日(祝日の場合は翌日) 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



冨井大裕《ball sheet ball》2006
Photo:柳場大

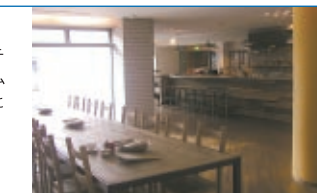
両展セット券：一般1,600円、学生・65歳以上1,300円、中高生800円

おすすめスポット

レストラン コント

2009年にオープンした、美術館の地下1階にあるレストラン。昔ながらの洋食メニューに、フレンチやイタリアンのテイストを加えた「現代洋食」を提供しています。おすすめはロールキャベツやオムライス。自家製天然酵母パンやオリジナルグッズも販売しています。また、週末にはアートや音楽に関するイベントを開催しています。

営業時間：11:00~21:00(ランチラストオーダー16:00。18:00以降は予約制のディナーとなります)
定休日：美術館休館日 TEL:03-3820-2250



ココが見どころ!

廃墟となった住宅や礼拝堂を舞台に、創作を展開してきた田窪恭治。今ここにあるものから出発した作品はいずれも、その奥に流れる時のかけらを纏い、静かに記憶に留まることでしょう。本展では、これまで手がけたプロジェクトを、新たなヴァージョンとして展示します。

東京都現代美術館 学芸員 関直子



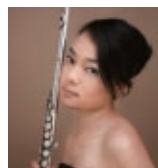
レクチャーコンサート2010-2011シーズン 「祖国への愛」シリーズ

第4回「故郷への讃歌」 1月14日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
出演:ナビゲーター&フルート/高木綾子、ピアノ/坂野伊都子 曲目:ドップラー/愛の歌 Op.20、バルトーク/ハンガリー農民組曲、カセッパ/シンリエンスとブルレスク、イサン・ユン/歌楽、福島和夫/冥、コーブランド/デュオ

第5回「ハーブ諸国めぐり」 3月4日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
出演:ナビゲーター&ハーブ/吉野直子 曲目:B.プリテン/ハーブのための組曲 Op.83、G.フォーレ/塔の中の王妃 Op.110、N.ロータ/サラバンドとトッカータ 他

第一線で活躍する旬のアーティストによるレクチャーと演奏を楽しむ、コンサートシリーズ。今回は「祖国への愛」をテーマにお贈りします。多大な影響を受ける「祖国」への思いを掘り下げ、今日に残る音楽の真髄に迫ります。

会場:東京文化会館 小ホール 料金:S席3,800円 他(全席指定) ※各種割引あり 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



高木綾子



吉野直子 ©Akira Muto

東京文化会館モーニングコンサート

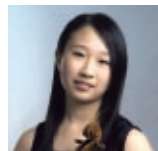
Vol.44 1月21日(金)
出演:ヴァイオリン/寺内詩織 *第7回東京音楽コンクール弦楽部門第3位および聴衆賞、ピアノ/島留美
曲目:モーツァルト/ヴァイオリンと管弦楽のためのロンド ハ長調 K.373、ビーバー/パッサカリヤ、プロコフィエフ/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 二長調 Op.94a、サラサーテ/バスク奇想曲 Op.24

Vol.45 2月8日(火)
出演:ピアノ/日下知奈 *第3回東京音楽コンクールピアノ部門第3位 曲目:プロコフィエフ/バレエ音楽「ロミオとジュリエット」より10の小品 Op.75 他

Vol.46 3月9日(水)
出演:フルート/濱崎麻里子 *第7回東京音楽コンクール木管部門第3位および聴衆賞、ピアノ/興口理恵
曲目:タファネル/アンダンテ・バスターレとスケルツェティーノ、シューベルト/アルペジオーネ・ソナタ 短調 D.821 他

お昼前のひとときをクラシック音楽とともに過ごしてみませんか?500円で楽しめる、1時間のコンサートです。身近に聴いたことのある名曲を中心にしたプログラムを、東京音楽コンクールに入賞した若手アーティストたちが奏めます。上野散策や、美術館・博物館めぐりとあわせて、ぜひお立ち寄りください。

開演:11:00(開場:10:30) 会場:東京文化会館 小ホール 料金:500円(全席自由) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



Vol.44 寺内詩織



Vol.45 日下知奈



Vol.46 濱崎麻里子

東京文化会館 ポピュラーウィーク 2011 Produced by 大友直人

2月16日(水)ー18日(金) 開演:19:00(開場:18:30)
2月19日(土)・20日(日) 開演:17:00(開場:16:30)

「東京文化会館ポピュラーウィーク」は、音楽監督である大友直人が「東京文化会館の素晴らしい音楽を是非一流のポップスアーティストとそのファンの皆様にも広く知ってほしい」という想いから企画しました。クラシックの歴史を刻んできた「日本一の響きのホール」にポップスの歴史が刻まれる5日間。1日600人限定のプレミアムなアコースティックコンサートをお贈りいたします。

出演:藤澤ノリマサ(16日)、中川晃教(17日)、原田真二(18日)、吉川忠英+井上鑑withタルバガン(19日)、武部聡志(20日)
会場:東京文化会館 小ホール 料金:6,500円(全席指定)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 制作:東京文化会館 制作協力:キョードー東京
チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



中川晃教

原田真二



吉川忠英

武部聡志

創遊・楽落らいぶ Vol.15 ー音楽家と落語家のコラボレーションー

2月22日(火) 開演:11:00(開場:10:30)

テレビ、ラジオに引っ張りだこの若手真打、桂平治が登場。第1部ではミニコンサート、第2部では落語と音楽のコラボレーション「味噌蔵」をご堪能ください。

出演:落語/桂平治 他 会場:東京文化会館 小ホール 料金:500円(全席自由) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、社団法人日本芸能実演家団体協議会【芸団協】 共催:社団法人落語芸術協会、日本音楽家ユニオン チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



桂平治

東京文化会館プレミアムコンサート 堀米ゆず子 with Friends J.Sバッハ・ブラームスの世界

3月12日(土) 開演:14:00(開場:13:30)

極上の音響空間で愉しむプレミアムコンサート!1980年エリザベート王妃国際コンクールで日本人初優勝を手にし一躍注目を集めた実力派ヴァイオリニスト堀米ゆず子主宰の室内楽をお楽しみください。

出演:ヴァイオリン/堀米ゆず子、ヴィオラ/鈴木康浩、チェロ/山崎伸子、ピアノ/津田裕也 曲目:ブラームス/ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調Op.100、J.S.バッハ/無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番BWV.1003、ブラームス/ピアノ四重奏曲第2番Op.26 会場:東京文化会館 小ホール 料金:一般4,000円 ヘア券7,000円(全席指定) ※各種割引あり 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



堀米ゆず子 ©Osamu Nakamura



ココが見どころ!

東京文化会館ポピュラーウィークは「クラシックの殿堂」東京文化会館が贈るスペシャルアコースティックライブ!ジャンルを超えた実力派アーティストが日替わりで小ホールに登場します。是非、本物のホールで本物の熱いステージを体感してください。

東京文化会館 事業企画課 茂木大輔

おすすめスポット

エントランスロビー

JR上野駅公園口の目の前に建つ東京文化会館。エントランスを入ると、ゆったりとしたロビーが広がっています。床には落ち葉をイメージしたモザイクが配され、天井には星空を思わせる照明が輝いています。まばゆい光に照らされ、2011年の50周年記念パナーがお目見えしました。エントランスの他、大ホールホワイエにも掲げられ、メモリアルイヤーを静かに告げます。



東京芸術劇場&読売日本交響楽団、京都コンサートホール&京都市交響楽団共同制作
シアターオペラvol.15 P.マスカーニ／歌劇『イリス』
全3幕(セミステージ形式、イタリア語上演・日本語字幕)

1月30日(日) 開演:15:00(開場:14:30)

※2月20日(日) 開演:15:00(京都コンサートホール)

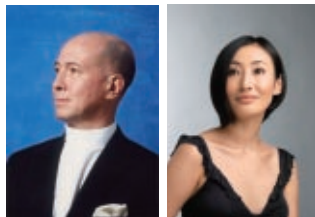
2008年度三菱UFJ信託芸術音楽賞の奨励賞を受賞した、伝説の舞台が今、よみがえります! 江戸を舞台に、盲目の父・チェーコと娘・イリスが繰り広げる歌劇『イリス』は、プッチーニの代表作『蝶々夫人』と並び、日本人が等身大で演じることのできる数少ない西洋オペラのひとつです。この希代の名作を、世界レベルのキャストとスタッフが集結し、東京芸術劇場の大ホールで上演します。

出演:井上道義(指揮・演出)、小川里美(イリス)、ジョン・ハオ(チェーコ)、ワン・カイ(大阪)、晴 雅彦(京都)、市原 愛(ディア&芸者)、西垣俊朗(乞食) 踊り子:橋 るみ(美)、馬場ひかり(吸血鬼) 人形師:ホリ・ヒロシ 邦楽師:柿屋利次郎社中 合唱:武蔵野音楽大学合唱団 管弦楽:読売日本交響楽団 会場:東京芸術劇場 大ホール(1月30日のみ) 料金:S席10,000円 他(全席指定) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、読売日本交響楽団、京都コンサートホール、京都市交響楽団 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 お問い合わせ:東京芸術劇場事業企画課 音楽担当:03-5391-2111

※未就学児の入場はお断りいたします。※都合により出演者等が変更になる場合がございますのでご了承ください。



「イリス」2008年公演より



井上道義
©Benjamin Lee

小川里美
©Kei Uesugi

東京芸術劇場パイプオルガンコンサートVol.14
全館改修前の最終公演!! 劇場より皆さまに感謝をこめて
3月31日(木) 開演:19:00(開場:18:30)

東京芸術劇場は開館から20年の節目を迎え、4月1日より施設改修のため全面休館となります。リニューアルオープンまで、約9,000本のパイプから成る劇場のオルガンとも、しばらくお別れ。世界でも最大級の規模を誇るだけでなく、表裏2つの面があり回転する非常に珍しいこのオルガンは、1台で様々な時代の曲を、よりオリジナルに近い形で弾き分けることができる唯一の楽器です。皆さまへの感謝の気持ちをこめて、オルガンの高らかな響きがグランド・フィナーレを飾ります。

出演:小林英之、新山恵理、平井靖子(オルガン)、根岸一郎(バリトン)※賛助出演 曲目:J.S.バッハ「前奏曲とフーガ変ホ長調BWV552、J.A.グラム「第二旋法による組曲、M.デュリュフレ「組曲Op.5 他 会場:東京芸術劇場 大ホール 料金:S席2,000円 他(全席指定) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 ※未就学児の入場はお断りいたします。 ※詳細はホームページをご覧ください。



ココが見どころ!

2008年に大好評を博した自信作、歌劇『イリス』がこの度再演となりました。また、演劇では、ロシアの文豪、アントン・チェーホフの精神世界に元・精神科医のタニノクロウが挑む『チェーホフ?!』を上演します。タニノワールドの深みが最奥部に達すること必至の期待作です。

東京芸術劇場 事業企画課 高橋 透

東京芸術劇場プロデュース チェーホフ生誕150周年記念
『チェーホフ?!』

～哀しいテーマに関する滑稽な論考～

1月25日(火)ー2月13日(日)

プレビュー公演 1月21日(金)・22日(土)

19世紀末、ロシア文学界に革命を起こしたといえる劇作家、アントン・チェーホフ。このたび生誕150周年を記念してお贈りするの、2000年に結成された「庭劇団ベニノ」を主宰するタニノクロウと、チェーホフとの一見意外な組み合わせ。医師でもあったチェーホフが残した博士論文を出発点に、同じく元・精神科医という特異な経歴を持つタニノクロウが仕立てる、妄想渦巻く現代劇とは? 文豪チェーホフという存在の根底に迫る、「誰も知らなかったチェーホフ」をお楽しみください!

作・演出:タニノクロウ 出演:篠井英介、穂谷友子、蘭 妖子、マメ山田、手塚とおる 会場:東京芸術劇場 小ホール1 料金:S席4,500円 他、プレビュー公演3,000円(全席指定) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 助成:文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業) チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 ※未就学児の入場はお断りいたします。 ※詳細はホームページをご覧ください。

*当公演は東京文化発信プロジェクト事業です。



芸劇eyes

柿喰う客『愉快犯』 1月7日(金)ー16日(日)

ひよっこ乱舞『ロクな死にかた』 2月3日(木)ー2月13日(日)

東京芸術劇場が目する新たな才能を紹介する「芸劇eyes」。1月は、虚構性に満ちた独特の演出で「圧倒的なフィクション」の創作を続ける「柿喰う客」が登場。ある家族に突然襲う不幸の連続を、皮肉的な笑いを織り交ぜながら表現し、人間の本性を浮き彫りにします。2月は、現代口語と身体性を表現の両輪とし、クラッピングや群舞など、音楽的な要素も取り入れる「ひよっこ乱舞」が、「死」という視点から、それを受容する家族の姿を描きます。演劇界で話題の2つの劇団が、2011年の新春を彩ります。

柿喰う客『愉快犯』 作・演出:中屋敷法仁 出演:七味まゆ味、コロ、玉置玲央、深谷由梨香、村上誠基 料金:3,300円 他(全席指定) ※各種割引あり ひよっこ乱舞『ロクな死にかた』 作・演出:広田淳一 出演:中村早香、笠井里美、松下 仁、根岸絵美、渡邊圭介、田中美穂、糸山和則 他 料金:3,200円 他(全席指定) ※各種割引あり 会場:東京芸術劇場 小ホール2 提携:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 ※未就学児の入場はお断りいたします。 ※詳細はホームページをご覧ください。 *当公演は東京文化発信プロジェクト事業です。



柿喰う客 2011年新春公演『愉快犯』



ひよっこ乱舞 前回公演より
©赤坂久美

おすすめスポット

ミュージアムアートギャラリー

国内のアーティストグッズから世界のミュージアムグッズ、音楽グッズ、さらには絵画まで・・・店内に一步踏み入ると、他では見られない様々なアイテムに思わず目移りしてしまうかもしれません。ご自分のほか贈り物にも、どうぞご利用ください。

営業時間:10:00~20:00 TEL:03-5950-3655



アート&カルチャーカレンダー

ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
 ○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
 企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
 ○掲載した情報は2010年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
 ○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
 ＊マークは、東京文化発信プロジェクト事業です。詳細はHPへ。

JANUARY		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		3日まで休館			東京都庭園美術館建物公開一朝香宮のグラウンドツアー 2010年12月11日～1月16日 ●フロアレクチャー 6日 15:30～ ●フロアレクチャー 13日 15:30～													17日～28日 庭園のみ開園			20世紀のポスター[タイポグラフィ] 1月29日～3月27日														
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	休館	特別展 江～姫たちの戦国～ 1月2日～2月20日																																
	5F 企画展		企画展 林芙美子と東京放浪 2010年11月23日～1月10日															企画展 140年前の江戸城を撮った男 横山松三郎 1月18日～3月6日																	
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	4日まで休園																特別展 武蔵御嶽神社と高尾山薬王院 1月15日～4月10日																	
	園内		●●● 8日・9日 正月 遊び、伝統工芸の実演 10:30～15:30 ●●● 武蔵野えとまる団 15日・16日 12:00～15:30																																
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	休館	スナップショットの魅力 2010年12月11日～2月6日																																
	2F 展示室		日本の新進作家展vol.9 [かがやきの瞬間] ニュー・スナップショット 2010年12月11日～2月6日																																
	B1F 展示室		映像をめぐる冒険vol.3 3Dヴィジョンズ 新たな表現を求めて 2010年12月21日～2月13日																																
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	休館	MOTコレクション 2010年10月29日～1月30日																																
	3F・1F・アトリウム 企画展示室		*東京アートミーティング トランスフォーメーション 2010年10月29日～1月30日																																
	B2F 企画展示室		オランダのアート&デザイン新言語 2010年10月29日～1月30日																																
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																																	
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷1F	7日まで休館	公開制作2 2010年11月27日～1月30日																																
	本郷2・3F		TWS-Emerging 153/154/155 池田 衆、江口綾音、坂根輝美 1月8日～1月30日																																
	渋谷		12日まで休館															TEAM(Tokyo Wonder Site Emerging Artists on Mezzanine) 1月13日～2月13日																	
	青山		3日まで休館																																OPEN STUDIO 29日●

●休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・第4水曜日休館 ※東京都写真美術館は2・3日特別開館、4日休館 ※東京都江戸東京博物館・東京都現代美術館は2～4日特別開館 ※東京都現代美術館は31日～2月25日、展示替えのため休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		主な主催公演		●休館日:1日～3日、11日、31日(ただし3日は公演あり)	
3日 大ホール	東京文化会館《響の森》vol.29 ニューイヤーコンサート2011 開演:15:00	14日 大ホール	*青少年のための舞台芸術体験プログラム ヘルリン国立バレエ団「シンデレラ」(公開リハーサル) 開演:17:00		
8日 大ホール	第8回東京音楽コンクール優勝者コンサート 開演:15:00	21日 小ホール	モーニングコンサートVol.44 寺内詩織(ヴァイオリン) 開演:11:00		
14日 小ホール	レクチャーコンサート 第4回 高木綾子(フルート) 開演:19:00	25日 小ホール	ティータイムコンサート 江口心一(チェロ) 開演:13:00		

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		主な主催公演		●休館日:1日～3日、17日、24日	
7日 大ホール	東京芸術劇場ニューイヤーコンサート2011 クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 開演:19:00				
7日～16日 小ホール2	*芝劇eyes 柿喰う客「愉快犯」 ※詳細はP18参照				
12日 大ホール	ランチタイム・バイブオルガン コン서트 Vol.95 出演:新山恵理 開演:12:15				
1月25日～2月13日 小ホール1	*東京芸術劇場プロデュース チェーホフ生誕150周年記念 『チェーホフ?!』 ※詳細はP18参照				
30日 大ホール	シアターオペラvol.5 P.マスカーニ/歌劇「イリス」全3幕 ※詳細はP17参照				

東京文化発信プロジェクト TOKYO CULTURE CREATION PROJECT	
1月中旬～3月中旬	川俣正・東京インプログレスー隅田川からの眺め「タワー・コンストラクション」 会場:都立汐入公園(荒川区) ※詳細はHPへ
10日～16日	墨東まち見世2010参加企画「墨田区在住アトレス家」 part 2 + 3 会場:旧アトレス家他 ※13日休演

2

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○掲載した情報は2010年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
*マークは、東京文化発信プロジェクト事業です。詳細はHPへ。

FEBRUARY		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		20世紀のポスター[タイポグラフィ] 1月29日～3月27日 ●ギャラ リートーク 10日 15:30～ ●ギャラリートーク 24日 15:30～																											
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	特別展 江～姫たちの戦国～ 1月2日～2月20日																											
	5F 企画展	企画展 140年前の江戸城を撮った男 横山松三郎 1月18日～3月6日 ●ミュージアムトーク 4日 16:00～ ●ミュージアムトーク 11日 16:00～ ●ミュージアムトーク 18日 16:00～																											
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 武蔵御嶽神社と高尾山薬王院 1月15日～4月10日																											
	園内	●●12日・13日 はらっぱ大会、伝統工芸の実演 10:30～15:30、武蔵野えとまる団 12:00～15:30 ミュージアムトーク 26日 14:30～●																											
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	スナップショットの魅力 2010年12月11日～2月6日																											
	2F 展示室	日本の新進作家展vol.9 [かがやきの瞬間] ニュー・スナップショ ット 2010年12月11日～2月6日 *第3回恵比寿映像祭 2月18日～2月27日																											
	B1F 展示室	映像をめぐる冒険vol.3 3Dヴィジョンズ 新たな表現を求めて 2010年12月21日～2月13日																											
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 2月26日～5月8日																											
	3F・2F企画展示室	MOTアニュアル2011 Nearest Faraway 世界の深さのはかり方 2月26日～5月8日																											
	1F・B2F企画展示室	田窪恭治展 2月26日～5月8日																											
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																											
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷全館	Emerging Artist Support Program 2010 第5回展覧会企画公募 2月26日～3月27日																											
	渋谷	TEAM(Tokyo Wonder Site Emerging Artists on Mezzanine) 1月13日～2月13日 TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL — SOUND, ART & PERFORMANCE —Part2 2月17日～2月27日																											
	青山	TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL — SOUND, ART & PERFORMANCE —Part2 2月13日～2月20日																											

●休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※東京都写真美術館は15～17日休館 ※東京都現代美術館は25日まで展示替えのため休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		●休館日:1日
8日 小ホール	モーニングコンサートVol.45 日下知奈(ピアノ) 開演:11:00	
16日～ 20日 小ホール	東京文化会館ポピュラーウィーク ※詳細はP16参照	
21日 大ホール	*青少年のための舞台芸術体験プログラム 東京二期会オペラ劇場「サロメ」(公開リハーサル) 開演:14:00	
22日 小ホール	創遊・楽落らいぶ Vol.15 落語/桂 平治 他 ※詳細はP16参照	

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		●休館日:14日
1月25日～ 2月13日 小ホール1	*東京芸術劇場プロデュース チェーホフ生誕150周年記念 「チェーホフ?!」 ※詳細はP18参照	
3日～ 13日 小ホール2	*芸劇eyes ひょっとこ乱舞「ロクな死にかた」 ※詳細はP18参照	
2月10日～ 3月31日 中ホール	NODA-MAP第16回公演「南へ」 作・演出:野田秀樹 出演:妻夫木聡、蒼井優 他 ※詳細はHPへ	
17日 大ホール	ランチタイム・バイブルガン コンサート Vol.96 出演:小林英之 開演:12:15	無料

東京文化発信プロジェクト TOKYO CULTURE CREATION PROJECT		
1月中旬～ 3月中旬	川俣正・東京インプログレスー 隅田川からの眺め 「タワーコンストラクション」 会場:都立汐入公園(荒川区) ※詳細はHPへ	27日
5日	TERATOTERA祭り 一井の頭公園池を舞台とした船上ライブ 会場:都立一井の頭恩賜公園	
		パフォーマンスキッズ・トーキョー 発表公演 会場:練馬文化センター アーティスト:山田うん(振付家・ダンサー)

3

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○掲載した情報は2010年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
*マークは、東京文化発信プロジェクト事業です。詳細はHPへ。

MARCH		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		20世紀のポスター[タイポグラフィ] 1月29日～3月27日 ●ギャラ リートーク 10日 15:30～													●ギャラリートーク 24日 15:30～																	
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展														特別展 五百羅漢 増上寺秘蔵の仏画 3月15日～5月29日																	
	5F 企画展	企画展 140年前の江戸城を撮った男 横山松三郎 1月18日～3月6日													企画展 芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺～ 3月15日～5月29日 ●ミュージアムトーク 25日 16:00～																	
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 武蔵御嶽神社と高尾山薬王院 1月15日～4月10日																														
	園内														●●● 19日・20日 春先キモノ日和、伝統工芸の実演 10:30～、武蔵野えどまる団 13:00～ ミュージアムトーク 26日 14:30～●																	
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	芸術写真の精華 日 本のビクトリアリズム 珠玉の名品展(仮称) 3月8日～5月8日																														
	2F 展示室	夜明けまえ 知られ ざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編 3月8日～5月8日																														
	B1F 展示室	APA展アワード2011 3月5日～3月20日													ベッティーナ・ランス展 3月26日～5月15日																	
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 2月26日～5月8日																														
	3F・2F 企画展示室	MOTアニュアル2011 Nearest Faraway 世界の深さのはかり方 2月26日～5月8日																														
	1F・B2F 企画展示室	田窪恭治展 2月26日～5月8日																														
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																														
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷全館	Emerging Artist Support Program 2010 第5回展覧会企画公募 2月26日～3月27日																														
	渋谷	ワンダーシード2011 3月5日～3月21日																														
	青山	● OPEN STUDIO 12日																														

●休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※東京都写真美術館は1～4日休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN	
主な主催公演 ●休館日:7日、8日	
2日ホワイエ 無料	ティールタイムコンサート 佐野央子(コントラバス)、山崎祐介(ハープ) 開演:13:00
4日小ホール	レクチャーコンサート 第5回 吉野直子(ハープ) 開演:19:00
4日大ホール	*青少年のための舞台芸術体験プログラム 藤原歌劇団「ルチア」(公開リハーサル) 開演:15:00
9日小ホール	モーニングコンサートVol.46 濱崎麻里子(フルート) 開演:11:00
12日小ホール	東京文化会館プレミアムコンサート ※詳細はP16参照

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE	
主な主催公演 ●休館日:14日、22日	
2月10日～3月31日 中ホール	NODA・MAP第16回公演「南へ」 作・演出:野田秀樹 出演:妻夫木聡、蒼井優 他 ※詳細はHPへ
28日大ホール	芸術&読売日響 0才から聴こう!春休みふれあいコンサート 開演:14:00 ※詳細はHPへ
30日大ホール	音楽大学フェスティバルオーケストラ 演奏会 開演:15:00
31日大ホール	東京芸術劇場パイプオルガンコンサートVol.14 開演:19:00 ※詳細はP17参照

東京文化発信プロジェクト TOKYO CULTURE CREATION PROJECT			
1月中旬～3月中旬	川俣正・東京インプログレスー岡田川からの眺め「タワーコンストラクション」 会場:都立汐入公園(荒川区) ※詳細はHPへ	29日・30日	東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験 発表会(日本舞踊・箏曲・長唄) 会場:浅草公会堂
21日	東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験 発表会(能楽) 会場:宝生能楽堂	30日	パフォーマンスキッズ・トーキョー 発表公演 会場:ルネこだいら アーティスト:岩淵多喜子(振付家・ダンサー)
26日～27日	六本木アートナイト2011 会場:六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース		

東京文化発信プロジェクト



TOKYO CULTURE CREATION PROJECT

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しています。様々な芸術分野のイベントや、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどを展開しています。

パフォーマンスキッズ・トーキョー 発表公演

2月27日(日) 会場:練馬文化センター アーティスト:山田うん(振付家・ダンサー)

3月30日(水) 会場:ルネこだいら アーティスト:岩淵多喜子(振付家・ダンサー)

ダンスや演劇のプロによる子供対象のワークショップ。子供たちが本物のアーティストと触れ、仲間とのコミュニケーションを深めながら舞台作品を作ります。

入場料:無料 主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち

※観覧は事前予約制を予定。詳細はホームページhttp://www.bh-project.jp/kids/jpn/event/data/kids_tokyo2010をご覧ください。



©鹿島聖子

東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験 発表会

3月21日(月・祝) 能楽 会場:宝生能楽堂

3月29日(火)・30日(水) 日本舞踊・箏曲・長唄 会場:浅草公会堂

伝統芸能の一流の芸術家から指導を受けた子供たちが7か月にわたるお稽古を積み重ね、3月に「ひのき舞台」でその成果を発表します。発表会ごとにプロの実演家による舞台もご鑑賞いただけます。

入場料:無料(事前申込制) 主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会

※事前申込方法は、ホームページ<http://www.bh-project.jp/kids/jpn/event/data/kids2010>をご覧ください。



昨年度の発表会の様子(能楽)
©(社)芸団協

六本木アートナイト2011

3月26日(土)~27日(日)

会場:六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
2009、2010年に引き続き、六本木の街を舞台に一夜限りのアートの饗宴が開催。現代美術、音楽、映像など多様なアートが街中に点在する非日常空間が作り出されます。この街を堪能できるような参加型プログラムも予定。ご期待ください。

入場料:無料(一部の美術館企画展およびプログラムは有料) 主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合)

※プログラム参加者の募集など詳細は公式ホームページ <http://www.roppongiartnight.com>をご覧ください。



六本木アートナイト2010の様子
©Roppongi Art Night Committee



ココが見どころ!

下町情緒あふれる谷中エリアで展開している『ぐるぐるヤミプロジェクト』。根津の一軒家「はっち」を活動拠点とし、若き表現者やさまざまな立場から芸術に関わる人々が日常的に集い、交流できる場を構築中です。2011年は台東初音幼稚園と協働でまちとこどもをつなぐ事業も実験的に開始します。
<http://okatte.info/>

東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当 坂本有理

<http://www.bh-project.jp>

TEL:03-5638-8800(東京文化発信プロジェクト室)

TERATOTERA祭り

-井の頭公園池を舞台とした船上ライブ-

2月5日(土) 湖上ライブ(日没後) 入場料:無料

JR中央線高円寺駅から吉祥寺駅区間をメインとして、多彩なアート活動を展開しているアートプロジェクトTERATOTERAでは、活動一周年を記念して『TERATOTERA祭り』を開催します。舞台となるのは、JR吉祥寺駅の南に位置する井の頭公園。日本のみならずアジア圏から欧米まで、世界を舞台に活躍する音楽家・大友良英による船上ライブを行ないます。またライブ前には、大友良英によるトークも予定しています。夜の帳が落ちた早春の井の頭公園池。池の畔で多くの観客たちが見守る中、一夜限りの船上オーケストラが出現します。

会場:都立井の頭恩賜公園(JR吉祥寺駅より徒歩5分)

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人TERATOTERA ※詳細はHP(<http://teratotera.jp/>)をご覧ください。



川俣正・東京インプログレスー隅田川からの眺め タワーコンストラクションー塔をたてる!

世界各地でインターローカル(地域間)・アートプロジェクトを展開する美術家・川俣正による都市東京を再考するプロジェクト。いよいよ1月から東京の変貌を定点観測するための塔を都立汐入公園に建設します。建設の過程で多くの方々にご参加いただくことで新たなコミュニケーションを誘発していきます。

会期:1月中旬から3月中旬 会場:都立汐入公園(荒川区)

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人CIAN 後援:荒川区/荒川区教育委員会



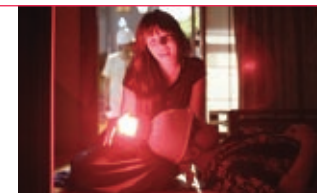
Photo: Masahiro Hasunuma
©Tadashi Kawamata

おすすめイベント

「墨田区在住アトレス家 part 2+3」(墨東まち見世2010参加企画)

墨田区内の空き家を借り、そこにギリシャ劇の一家がかつて暮らしていたという設定で、家やまちを再発見するプロジェクト。実際のまちや家屋の姿を手がかりに、アトレス家の親子三代にわたる生活を具体的に想像し、数々の事件の痕跡をたどりませ。インスタレーションと演劇の間をさぐる作品。ぜひご観覧ください。

公演日:1月10日(月・祝)~16日(日) ※13日(木)は休演 場所:旧アトレス家他
<http://machimise.net/>



地図&インフォメーション

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョー・アート・ナビゲーション
<http://www.rekibun.or.jp> <http://tokyoartnavi.jp>

公益財団法人東京都歴史文化財団管轄施設の観覧料について(対象:東京都庭園美術館の庭園、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園及び東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展・映像展)
 ●都内在住・在学の中学生、小学生は無料。●65歳以上の方は、一般料金の半額。●毎月第3土曜、第3日曜(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額。●観覧料の記載がない場合は、展覧会、催物によって金額が異なります。

01 東京都美術館 (平成24年4月まで休館) TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



TEL: P29を参照 WEB: <http://www.tobikan.jp> 所在地: 〒110-0007台東区上野公園8-36 開: 9:00-17:00 休: 毎月第3月曜日、企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・工事休館日 交通: JR上野駅公園口より徒歩7分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分 / 京成電鉄上野駅より徒歩10分 (*改修工事のため全面休館中、平成24年度リニューアル開館)

02 東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN



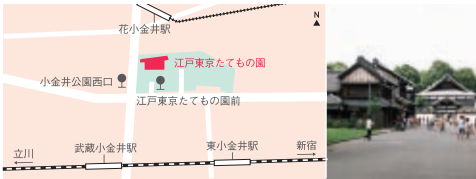
TEL: 03-3828-2111 WEB: <http://www.t-bunka.jp> 所在地: 〒110-8716台東区上野公園5-45 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日・他 交通: JR上野駅公園口より徒歩1分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩5分 / 京成電鉄上野駅より徒歩7分

03 東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM



TEL: 03-3626-9974 WEB: <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> 所在地: 〒130-0015墨田区横網1-4-1 開: 9:30-17:30(土・19:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・国技館で大規模本場所開催中は開館 観覧料: <常設展>一般600円・大学生480円・65歳以上300円・中・高校生300円・小学生・都内中学生無料 交通: JR南国駅西口より徒歩3分 / 都営大江戸線南国駅A4出口より徒歩1分

11 江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

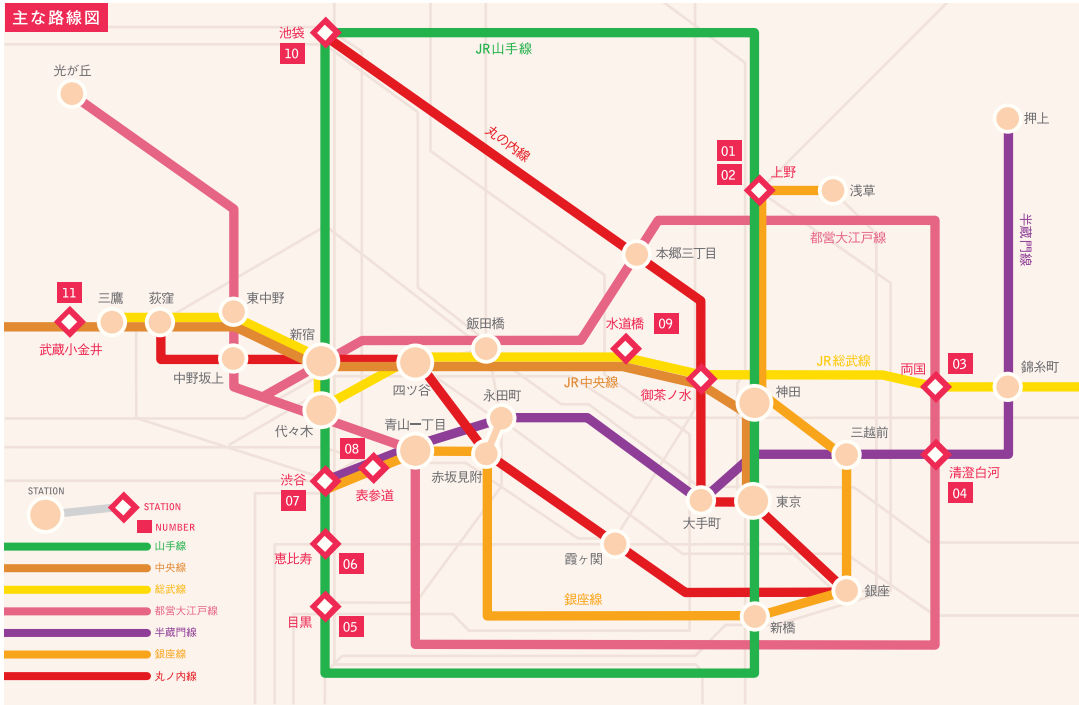


TEL: 042-388-3300 WEB: <http://www.tatemonoen.jp> 所在地: 〒184-0005小金井市桜町3-7-1 開: 9:30-17:30(10~3月・16:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 一般400円、大学生320円、65歳以上200円、中・高生200円、都内中・小学生無料 交通: JR武蔵小金井駅北口よりバス、2・3のりばより「小金井公園西口」下車徒歩5分 / 4のりばより「江戸東京たてもの園前」下車徒歩3分 / 西武新宿線花小金井駅南口よりバス、「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分

10 東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE



TEL: 03-5391-2111 WEB: <http://www.geikei.jp> 所在地: 〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日(毎月2日程度)・工事休館日 交通: JR・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅西口より徒歩2分



04 東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO



TEL: 03-5245-4111 WEB: <http://www.mot-art-museum.jp> 所在地: 〒135-0022江東区三好4-1-1 開: 10:00-18:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・保守点検日 観覧料: <常設展>一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 交通: 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分 / 都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分 / 東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分 / 「木場駅前」バス停から(業10)「美平橋駅前」行、(東20)「錦糸町駅前」行 / JR東京駅丸の内北口よりバス「錦糸町駅前」行 / JR錦糸町駅よりバス「東京駅丸の内北口」行(すべて「東京都現代美術館前」下車)

05 東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM



TEL: 03-3443-0201 WEB: <http://www.teien-art-museum.ne.jp> 所在地: 〒108-0071港区白金台5-21-9 開: 10:00-18:00 休: 第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: 都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 / JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分

09 トーキョーワンダーサイト本郷 TOKYO WONDER SITE HONGO



TEL: 03-5689-5331 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒113-0033文京区本郷2-4-16 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR御茶ノ水駅・水道橋駅、東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅、都営大江戸線本郷三丁目駅各駅よりそれぞれ徒歩7分

08 トーキョーワンダーサイト青山 TOKYO WONDER SITE AOYAMA CREATOR-IN-RESIDENCE



TEL: 03-5766-3732 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0001渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山SOUTH棟3F 開: オープンスタジオ、レクチャー等開催時のみ一般開館 交通: 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分 / JRは渋谷駅より徒歩8分

07 トーキョーワンダーサイト渋谷 TOKYO WONDER SITE SHIBUYA



TEL: 03-3463-0603 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0041渋谷区神南1-19-8 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

06 東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



TEL: 03-3280-0099 WEB: <http://www.syabi.com> 所在地: 〒153-0062目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 開: 10:00-18:00(木・金・土・20:00) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR恵比寿駅東口より徒歩7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分

東京都美術館

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

リニューアル準備室 TEL: 03-5806-3792 事業係(企画展・特別展) / 03-5806-3723 交流担当(公募展) / 03-5806-3726 管理係

東京都美術館は 2012年4月にリニューアルオープンします。

▶現在、改修工事のため休館中です。

リニューアル後の東京都美術館では ①人びとの交流の場となり、新しい価値観を生み出す美術館 ②芸術活動を活性化させ、鑑賞の体験を深める美術館 ③伝統を重視し、新しい息吹との融合を促す美術館 ④世界と日本の名品に出会える美術館 以上の四つの役割を果たすため、次の通り事業に取り組みます。

- 「交流による新たな可能性を探求する場」として、ワークショップなどのアート・コミュニケーション事業を、交流棟を中心に全館で実施 (アート・コミュニケーション事業)
- 「つくる喜びを共有する場」として、従来どおり公募団体等への施設貸出しのほか、新たに公募展活性化企画を実施 (公募展事業)
- 「見る喜び・知る楽しさを提供する場」として国内外の優れた作品を鑑賞する場となる特別展のほか、社会に対しメッセージを発信する企画展を新たに実施 (展覧会事業)
- 「訪れる楽しみを充実させる場」として、ミュージアムショップやレストラン、カフェを展開 (アメニティ事業)

さまざまなアーティスト、団体、地域と連携・協力し、80年余の歴史を持つ当館ならではの多彩な取り組みを実現、社会に貢献することを基本姿勢として、館の運営・事業実施にあたります。

リニューアルオープンに向けて、事業に関わることはもちろん、改修工事についてなど、着々と計画は進行しております。随時、情報をアップしてまいりますので、ウェブサイトにてご確認ください。



改修工事現場で確認作業中の美術館スタッフ

<http://www.tobikan.jp>

●●●●●Tokyo Art Navigation リニューアルオープン

「Tokyo Art Navigation トーキョー・アート・ナビゲーション」は、「東京のアートシーンをアーティストと共に創り、発信する」をコンセプトに、「東京の文化・芸術の現在」を紹介するサイトです。美術館・博物館や音楽ホールで行なわれるさまざまな展覧会やコンサートの情報のほか、アーティストの活動サポートを目的とし、活動スペースや助成金、コンテスト情報をリアルタイムでご紹介しています。

このたび、2010年10月1日にサイトデザインをリニューアルし、それぞれの情報がより発信・検索しやすくなりました。さらに、「アーティストファイル」に投稿されている作品に「応援ボタン」をつくりました。作品脇にある「★」ボタンのクリックが多い作品やアーティストが、ランキングの上位に登場します。お気に入りの作家や作品を見つけて是非応援してください。

<http://tokyoartnavi.jp/>



発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都墨田区横網1-4-1 tel.03-5610-3503
企画：公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集：びあ株式会社
印刷・製本：光写真印刷株式会社
編集：齋藤由美、平原都子、塚野清香(びあ株式会社) 取材・文：三木貴代、渋谷敦子
アートディレクション：一瀬瀬光太郎(株式会社ミニストリー・オブ・デザイン) DTP：エース企画
【栗山千明】撮影：福田崇美子 スタイリスト：ume ヘアメイク：atsu.co
衣装協力：anden sal co.,ltd ☎03(3463)1011,
Made in COLKINIKHA office. ☎03(6314)8193
©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

公益財団法人 東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



「トーキョー・アート・ナビゲーション」
携帯サイトへGO!
公益財団法人東京都歴史文化財団各施設の
情報をチェックできます
→ tokyoartnavi.jp